

保証書付

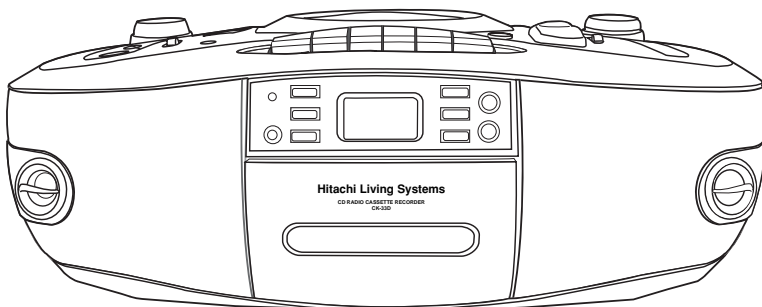
保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ずご記入をお受けください。

CDラジオカセットレコーダー

CK-33D形

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



MP3
MPEG AUDIO



USB

COMPACT DISC
DIGITAL AUDIO

目次

はじめに	安全上のご注意.....	2	録音	録音する.....	30	
	使用上のお願い.....	7		参考	お手入れ.....	32
	各部のなまえ.....	10			故障かな?と思ったら.....	34
準備	電源と接続について.....	12	仕様.....		36	
	共通の操作.....	14	ご相談窓口.....		38	
聞きかた	音楽CDを聞く.....	16	保証とアフターサービス.....		39	
	MP3/WMAファイルのCDを聞く....	18	保証書.....		裏表紙	
	プログラム再生.....	22				
	USB機器を聞く.....	24				
	テープを聞く.....	26				
	ラジオを聞く.....	28				

安全上のご注意

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。



の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。



の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

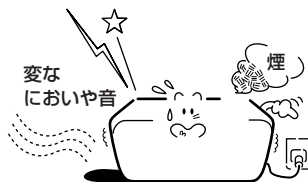
「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますのでご了承ください。

警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体のファンクションスイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする(異常状態)
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。
- 本機の内部に水などが入った
- 本機の内部に異物が入った
- 音が出ないなど(故障状態)
- 落としたり、キャビネットを破損した



電源プラグを
コンセントから抜く

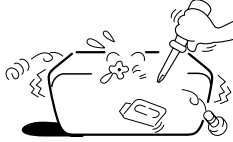
警告

■ 分解・改造しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



分解禁止



■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。



禁止

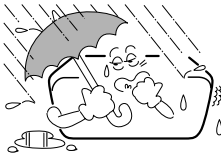


■ めらさない

- 本機をめらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。



水ぬれ禁止



■ 異物を入れない

通風孔、ディスクやカセット挿入口、USB端子などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。(特に小さなお子さまにご注意ください。)火災、感電の原因となります。



禁止



■ 電源コードを傷つけない

無理な使いかたをするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。



禁止



電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 電源コード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使いかたをすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。



■ 差し込み部分は定期的に点検を

定期的に電源プラグを抜いて、プラグとコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。



警告

■壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。



禁止



■通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部や底部などに通風孔があり、次のような使いかたはしないでください。

- 本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。



禁止



■雷が鳴り出したら



屋外で使用中の場合は、ロッドアンテナをたたくで安全な場所に避難してください。感電・落電の原因となります。

■レーザー光をのぞき込まない



禁止

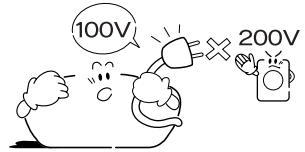
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

■電源電圧100 V以外で使用しない

表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



禁止

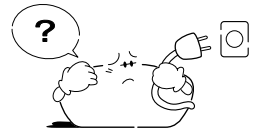


■国外では使用しない

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



禁止



■乾電池は充電しない

電池の破裂、液漏れにより火災・けがの原因となります。



禁止

■種類の異なる(たとえばアルカリ乾電池とマンガン乾電池)や新旧の電池を一緒に混ぜて使わない

電池の破裂、液漏れにより火災・けがの原因となります。



禁止

■風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など、湿度の高いところや水の跳ねる場所で使用しないでください。



水ぬれ禁止 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

■ 電源プラグを抜くときの注意



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意



禁止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 不安定な場所に置かない



禁止

不安定な場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 持ち運びの注意



電源プラグをコンセントから抜く

- ディスクを取り出してください。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続機器を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- ロッドアンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びするとロッドアンテナがひっかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。

■ ディスクやカセット挿入口に手を入れない



指をはさまれないよう注意

けがの原因となることがあります。(特に小さなお子さまにご注意ください。)

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない



禁止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意



音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない



禁止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■ 音量は徐々に上げる



電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。(電源を切るときは、音量を小さくしてください。音量調節は、確認しながら行ってください。)

■ 幼児の手の届くところに置かない



禁止

けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 長期間使用しない場合やお手入れの際の注意



電源プラグを
コンセントから抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 内部の掃除について



内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 磁波の発生する機器に近づけない



禁止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけない。電磁波のためにノイズが発生することがあります。

■ 付属の電源コードを本製品以外に使用しない



付属の電源コードを本製品以外に使用しないでください。

■ 乾電池使用上の注意



乾電池の使いかたを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 単1形乾電池以外は使用しない。
- 極性(⊕と⊖)に注意し、表示通りに入れる。
- 種類の異なるものや、新旧の電池を混ぜて使わない。
- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。



禁止



もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

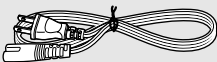
音のエチケット



楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さめな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなど互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

付属品

電源コード



(乾電池は付属していません)

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを確認してください。

著作権について

放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

従ってそれらから録音したデータを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)におたずねください。(JASRAC 本部：TEL.03-3481-2121)

使用上のお願い

■ CDについてのご注意

- CDにインクジェット用CDラベルを貼ったCD、紙やシールを貼ったCDは使用しないでください。

また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるCDは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。故障の原因となることがあります。(特殊形状CDの例)



- 市販のCDスタビライザは使用できません。
- 以下のようなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。

- ◆ 本機に強い衝撃を与えたとき。
- ◆ 薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。

- コピーガード付きCDの再生について
CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するCDであることをご確認ください。なお、CD規格に準拠しないCD再生時にもみ支障がある場合、詳細についてはCDの発売元にお問い合わせください。

■ CD-R/RWディスクについて

- 本機では音楽CD形式（CD-DA形式）で保存されたCD-R/RWディスクを再生することができますが、録音された環境や内容によっては再生できないこともあります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。

- 本機ではCD-R/RWディスクに録音することはできません。
- DVD、VCD（ビデオCD）、フォトCDは再生できません。

ディスクの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

センターホルダーを押さえ



印刷面を上にして…



再生面に触れないように
持って出す。

上から押さえて
入れる。

- ディスクに紙やシールを貼らない。
- ディスクは曲げない。

ディスクの保管について

- 必ず専用ケースに入れて保管ください。
- 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。

ディスクのお手入れ

再生する前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かってふいてください。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は使用しないでください。

露つき(結露)のご注意

周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露(水滴)が発生することがあります。この状態では正常にディスクを再生できないことがあります。このような場合、ディスクを取り出し、使用される場所で約1時間放置した後、ご使用を開始してください。

使用上のお願い

■本機で使用できるUSB機器

- 128MB以上のUSBマストレージクラスに対応したUSB機器および、デジタルオーディオプレーヤーに記録されたMP3やWMAファイルを再生することができます。
- 本機で認識できるのは8階層までのフォルダとファイルです。
- ファイル数1999またはフォルダ数999まで認識できます。ただし、フォルダ構造によっては全てのファイルが認識できない場合があります。
- 著作権保護されたファイルの再生はできません。
- USBハブやUSBカードリーダーライターは使用できません。
- USB機器を本機に接続する場合は、1.5m以下のケーブルを使用してください。1.5mを超えるケーブルの場合、USB機器を認識しないことがあります。
- 内蔵メモリ以外にカードスロットを搭載するデジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器は、内蔵メモリのみ認識します。本機に接続して再生できるのは、内蔵メモリ内のファイルのみです。
- ハードディスクタイプのUSB機器は使用できません。
- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。



ちょっとこれを！

- USBマストレージクラスとは、USB端子に大容量記憶装置（マストレージ）を接続するために定められた規格で、USBストレージクラスと呼ばれることもあります。この規格に準拠したUSB機器は、端子に接続すると外部記憶装置として認識されるため、デジタルオーディオプレーヤーなどでも外付けの記憶装置と同じように扱うことができます。使用するUSB機器がUSBマストレージに対応しているかどうかは、USB機器メーカーにご確認ください。

■必ずお読みください（USB機器）

本機の使用で、本機やカセットテープの不具合による録音の失敗および録音内容（データ）の損失を防ぐために

1. 再生中は絶対にUSB機器、電源コードを抜かないでください。
2. 録音前には必ず試し録音をしてください。
3. 録音データを他の機器にバックアップしてください。

本機やカセットテープ使用中および落下や衝撃が原因での不具合による録音内容（データ）損失や録音機会損失などの補償、また本機が使用できなかったことによる付随的損害の補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

弊社製デジタルオーディオプレーヤー動作確認表

形式	本機での再生
HMP-S2	○
HMP-F3	
HMP-D3	
HMP-S3(W/Y)	
HMP-G1	

- 本機でデジタルオーディオプレーヤーへ録音することはできません。

■他社製品との互換性について

- 「本機で使用できるUSB機器」の使用条件をすべて満たした場合でも、他社製品（デジタルオーディオプレーヤーなど）の動作を保証するものではありません。他社のカタログや取扱説明書などでご確認ください。
- 次のような仕様のデジタルオーディオプレーヤーは、本機では使用できません。
 1. MP3/WMA（DRM非対応）形式以外の独自形式を採用しているもの
 2. MP3/WMA（DRM非対応）形式のファイルをパソコンから転送する際に、専用ソフトを使って独自の暗号化（著作権保護）を施すもの
(例) アップル製「iPodシリーズ」、ソニー製「ウォークマンシリーズ」、東芝製「gigabeatシリーズ」、松下電器製「D-snapオーディオシリーズ」、等

使用上のお願い

■MP3（エムピースリー）について

MP3とは、MPEG-1 Audio Layer3というファイル形式で圧縮された音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得る非可逆圧縮方式を採用しており、音質の劣化を少なくし、データ量を約1/10(128kbpsの場合)に圧縮することができます。

■WMA（ダブルユーエムエー）について

WMAとは、Windows Media Audioの略でマイクロソフト社が開発したファイル形式で圧縮された音楽データです。「.wma」または「.WMA」という拡張子の付いたファイルをWMAファイルと呼びます。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得る非可逆圧縮方式を採用しており、音質の劣化を少なくし、データ量を約1/20(64kbpsの場合)に圧縮することができます。

登録商標について

- Microsoft®、Windows Media™ および Windows®ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。



- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™および®は明記していません。

再生中・再生後の音量にご注意ください

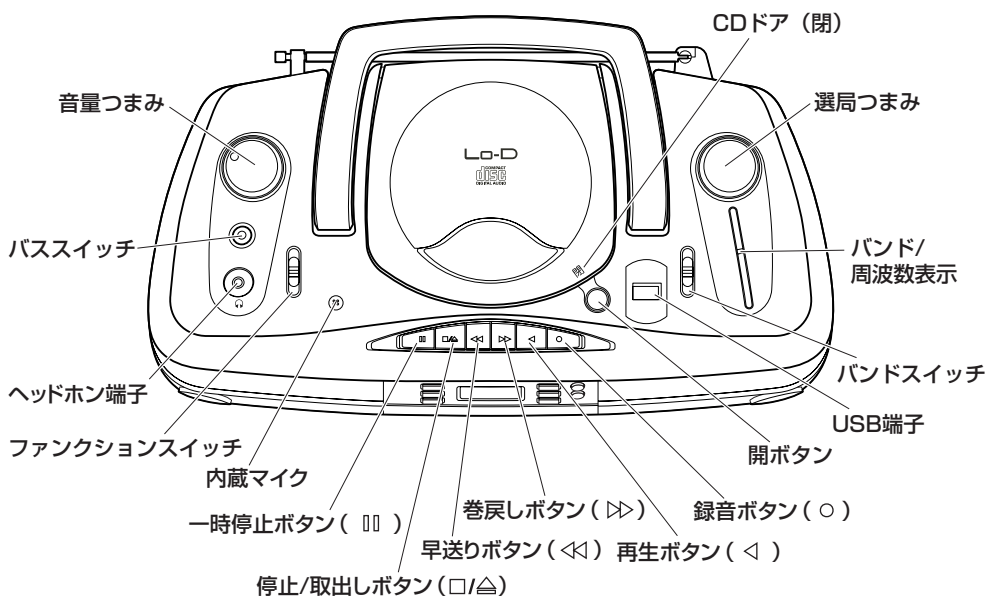
音楽CDに記録されている音声のレベルはディスクによって異なります。音声レベルが低いディスクを再生したときは、音量を上げないと通常のように聞こえない場合がありますが、本機の故障ではありません。また、音量を上げて音楽CDを再生した後に、音量を上げたまま別の音楽CDを再生すると、大きな音が出る場合がありますのでご注意ください。このようなことを防ぐため、ディスクを再生するときは、事前に音量を下げるよう心がけてください。

免責事項

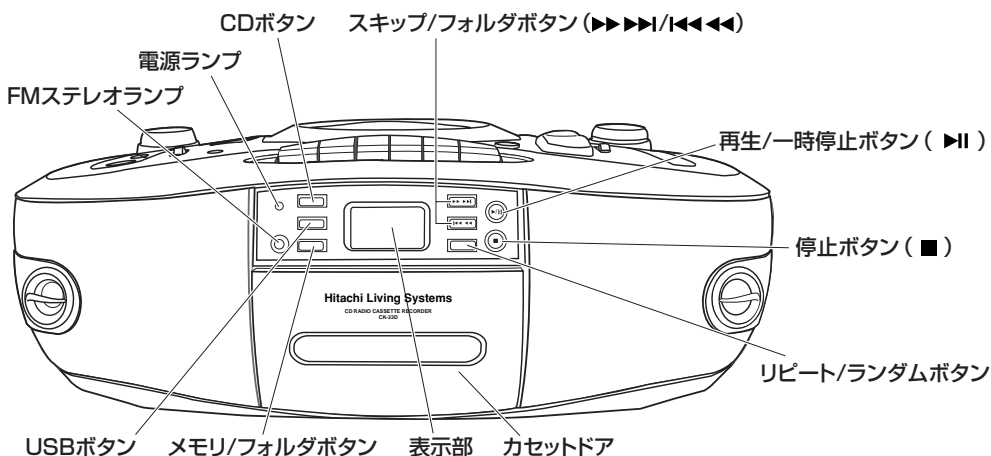
- 本機やその他の機器の不具合によって曲ファイルや記録されているデータが破損、または消去された場合のデータの補償に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機のご使用によって生じたその他の機器やデータの損害に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、中断を含む）に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

各部のなまえ

■ 上面



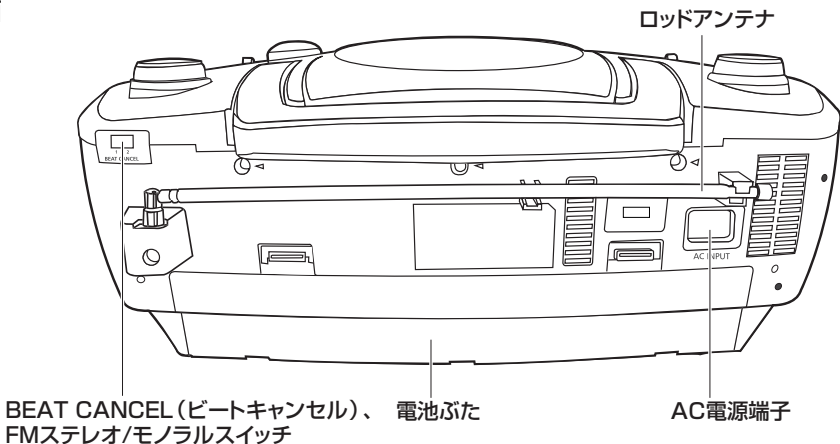
■ 前面



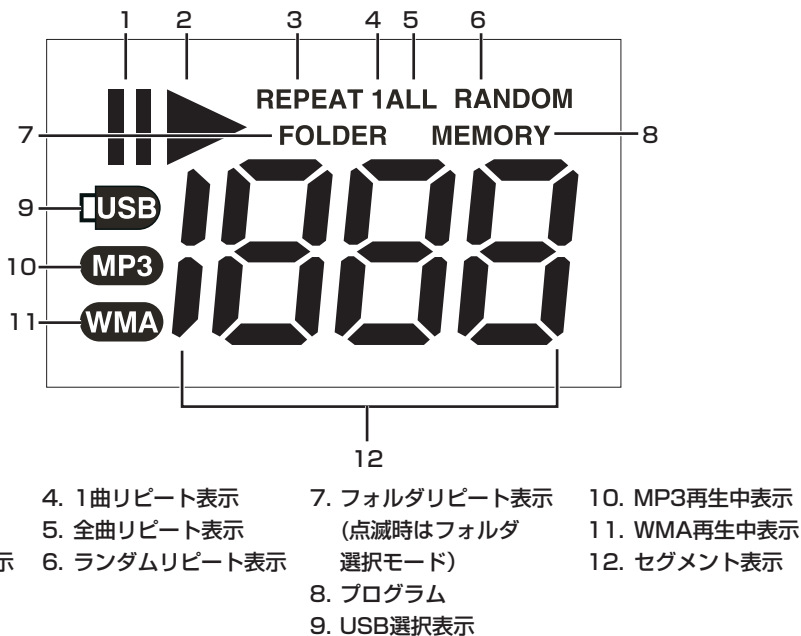
● 表示例として使用しております表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

各部のなまえ (つづき)

■背面



■表示部



電源と接続について

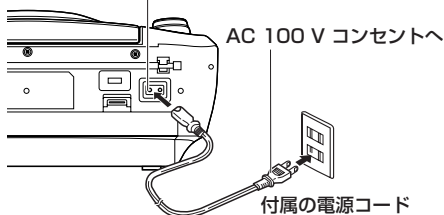
■電源

このCDラジオカセットレコーダーは、AC電源と乾電池の両方で動作します。

■AC電源

本体背面にあるAC電源端子（AC INPUT）へ付属の電源コードを入れて、コードの反対側をAC100Vコンセントに差し込んでください。

背面のAC電源端子（AC INPUT）

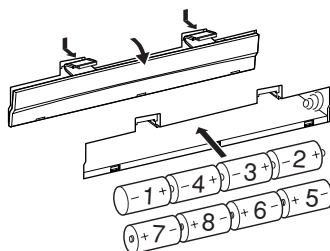


注意

1. 付属の電源コード以外は、本体にダメージを与える恐れがありますので使用しないでください。また、電源コードを使うときは、乾電池を本体から取り出してください。
2. 本体を外に持ち出すときや長期間使わないときは、電源コードを必ず抜いてください。
3. 電源コードを抜き差しするときは、ファンクションスイッチを「^{テープ}電源切」の位置に合わせてからおこなってください。
4. 文中の「電源を切る」とはファンクションスイッチを「^{テープ}電源切」にすることです。

■乾電池

- 電池ぶたを開け、別売の単一形乾電池8本を極性（⊕と⊖）を間違えないよう図に示す番号順に入れます。
- 電源コードがAC電源端子に接続されていると、乾電池では動作しません。



注意

1. 長期間使用しない場合やAC電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。
2. 乾電池が消耗してくると次のような現象が生じます。
 - ・音が小さい、ひずむ。
 - ・テープ速度が遅くなる。
 - ・ラジオは聞けるがディスクやテープが正常に動作しない。
3. 大切な録音やディスク再生するときは、AC電源の使用をおすすめします。

電源と接続について (つづき)

■ アンテナ

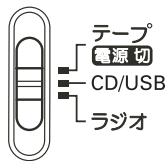
AMアンテナが本体に内蔵されているため、本体の位置を動かすことでAMの受信状態を調整できます。FM受信状態は、本体背面に付いているロッドアンテナを伸ばしたり動かしたりして調整できます。

- 注意**
1. 放送局の電波等の近くなど電波の強い影響を受ける地域では、希望する放送局が受信できない場合があります。
 2. 本機とテレビを近づけると、色ムラなど映像や音声に影響をあたえる恐れがあります。その場合は、本機を離してご使用ください。
 3. テレビの近くでAMを受信したり、蛍光灯の近くで使用したりすると、ラジオに雑音が入ることがあります。また室内アンテナや同軸ケーブルを使用していないフィーダーアンテナを使用しているテレビの近くで本機を動作させると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機を離して使用してください。

共通の操作

■ファンクションスイッチ

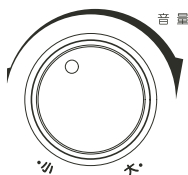
ファンクションスイッチを使いたい機能の記載された部分に動かします。



ファンクション

■音量

音量つまみをまわして、音量を調整します。



■電源オフ

本体の電源を切るときには、カセットテープのボタンが押されていない状態で、「テープ電源切」にファンクションスイッチをあわせてください。



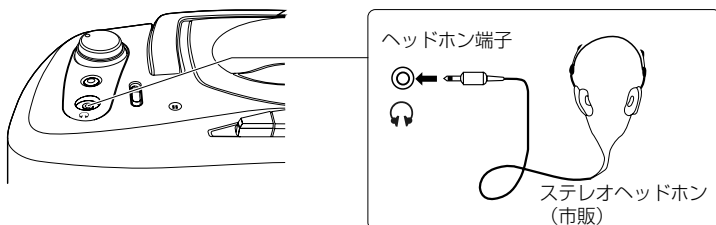
■バススイッチ

低音を強調したいときにボタンを押してください。「■切」にすると、もとの音質になります。

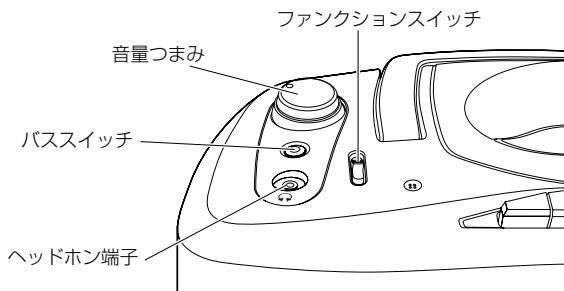


■ヘッドホン

ミニプラグ付のステレオヘッドホン（市販）を上面のヘッドホン端子に接続します。



ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。

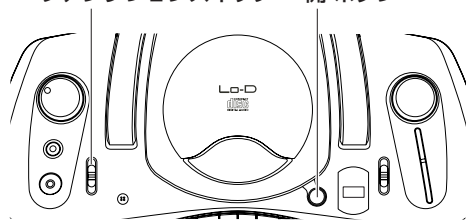


注意 ファンクションスイッチを動かしたとき「ポツ」という音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

MEMO

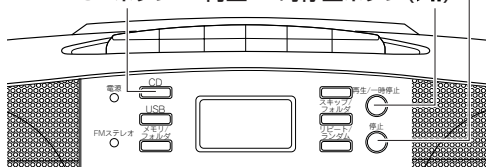
音楽CDを聞く

ファンクションスイッチ 開 ボタン



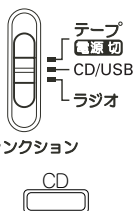
停止ボタン(■)

CDボタン 再生/一時停止ボタン(▶||)



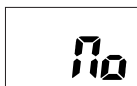
1 ファンクションスイッチを「CD/USB」に合わせ、「CD」ボタンを押す。

表示部が点灯し、「cd」ファンクションが数秒間点滅します。



CDが入っていない場合
表示部に「No」と表示されます。

CDが入っている場合
CDに収められている曲数が表示されます。



2 CDを入れる

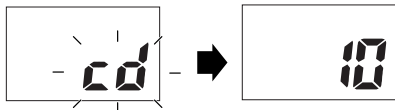
「開」ボタンを押して、CDドアを開けてください。表示部に「OP」と表示されます。

- CDのレーベル(印刷)面が上向きになるようにディスクテーブルに乗せます。
- 一度に2枚以上のCDを入れることはできません。



3 CDドアを閉める

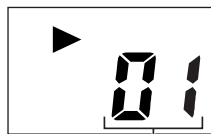
- CDドア「閉」部を押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。表示部に「cd」と点滅表示された後、CDに収められている曲数が表示されます。



(例) 10曲入りCD

- ※トラック数が多い場合は収められている曲数の表示に時間がかかる場合があります。

4 「再生/一時停止(▶||)」ボタンを押す 曲番1から再生が始まります。



再生中の曲番

- 最後の曲まで再生が終わると、自動的に停止します。

CDを停止する

CDを再生中に「停止(■)」ボタンを押す

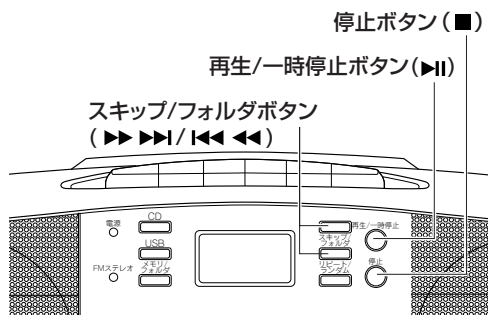
CDを取り出す

「停止(■)」ボタンを押し、CDの回転が完全に停止してから、「開」ボタンを押す

注意

- 再生中は、絶対に「開」ボタンを押さないでください。CDを傷つけることがあります。

音楽CDを聞く (つづき)



再生の一時停止

再生中に「再生/一時停止 (▶||)」ボタンを押す



- もう一度押すと、再び再生が始まります。

聞きたい曲から聞く

停止時に、「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶/◀◀◀◀)」ボタンを押して、希望の曲番号を表示し、「再生/一時停止 (▶||)」ボタンを押す

選んだ曲以降を順に再生します。

早送り、早戻し

再生中に、「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶/◀◀◀◀)」ボタンを押し続け、希望のところで指を離す

曲の頭出し

停止時または再生中に、曲の先頭から再生します。

次の曲の先頭に行く

「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶)」ボタンを1度押します。

再生中の曲の先頭に戻る

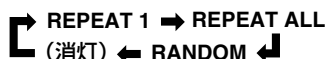
「スキップ/フォルダ (◀◀◀◀)」ボタンを1度押します。

1つ前の曲の先頭に戻る

再生中は「スキップ/フォルダ (◀◀◀◀)」ボタンを2度押します。停止時は「スキップ/フォルダ (◀◀◀◀)」ボタンを1度押します。

再生をくり返す(リピート再生)

「リピート/ランダム」ボタンを押すたびに、表示部の点灯が「REPEAT 1」→「REPEAT ALL」→「RANDOM」→消灯と切り換わります。



1曲のみくり返し再生する

「リピート/ランダム」ボタンを押して、「REPEAT 1」を点灯させます。

全曲をくり返し再生する

「リピート/ランダム」ボタンを押して、「REPEAT ALL」を点灯させます。

プログラムした曲をくり返し再生する

再生する曲をプログラムしたあと(P.22参照)、「リピート/ランダム」ボタンを押して、「REPEAT ALL」を点灯させます。

くり返し再生を解除する

「リピート/ランダム」ボタンを押して、表示を消灯します。

注意

- CDを取り出すには、CDの回転が停止したのを確認してから、「開」ボタンを押してください。
- くり返し再生設定中に、CDドアを開けるとくり返し再生の設定は解除されます。

MP3/WMAファイルのCDを聞く

本機では、CD-R/-RWに記録されたMP3形式またはWMA形式の音楽ファイルを再生できます。また、本機ではフォルダ名とファイル名を表示せずに、フォルダ番号と曲番号で表示します。

■MP3/WMAファイルの再生について

- ISO9660(レベル1、レベル2)フォーマットに準拠したディスクを再生できます。
- オーディオCDトラックとMP3/WMAファイルが混在したCDはオーディオCDトラックのみ再生します。
- ファイル構成により、MP3/WMAファイルを読み込むのに1分以上かかる場合があります。
- 高品質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbps以上のビットレートで記録された音源をお勧めします。
- ファイル数999またはフォルダ数500まで認識できます。ただし、フォルダ構成によっては全てのファイルが認識できない場合があります。
- MP3/WMA CDは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- MP3/WMA作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、対応いたしかねます。
- パケットライトソフト、Joliet形式、Romeo形式、HFS形式には対応していません。
- 音楽ファイルは第1階層から順に再生します。
- マルチセッションの場合は、セッションごとに順に再生します。
- MP3形式またはWMA形式の音楽ファイル以外は表示されません。

<MP3>

- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」または「.MP3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
 - － 32kHz、44.1kHz、48kHz、32kbps～320kbps(固定または可変のビットレート)
- MPEG-1 Audio Layer 3のみ対応しています。

<WMA>

- WMA形式のファイルで拡張子「.wma」または「.WMA」が付加されているファイルを再生できます。
- WMA形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
 - － 32kHz、48kbps～64kbps
 - － 44.1kHz、48kbps～192kbps
 - － 48kHz、128kbps～192kbpsWMA9 Professional、WMA9 Lossless形式のファイルまたは、DRM(著作権管理)がかかったWMA形式のファイルは再生できません。
- WMA形式のファイルを作る時には著作権保護機能を外して作成してください。
- 音楽ファイルは第1階層から順に再生します。
- マルチセッションの場合は、セッションごとに順に再生します。
- MP3形式またはWMA形式の音楽ファイル以外は表示されません。

フォルダを選択する

- 1** 再生中または一時停止中に「メモリ/フォルダ」ボタンを押す
表示部に「FOLDER」表示が約3秒間点滅し、再生中の音楽ファイルがあるフォルダ番号を表示します。

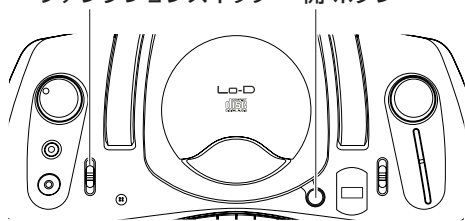
- 2** 「FOLDER」表示が点滅中に「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶/◀◀◀◀)」ボタンを押して、希望のフォルダを選ぶ
押すたびに、フォルダを順に選択し、フォルダ番号を表示した後、フォルダ内の最初の音楽ファイル番号を表示して再生を始めます。

注意

- 停止中およびプログラム再生中にフォルダを選択することはできません。

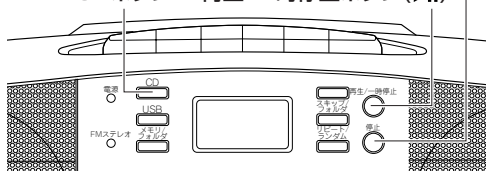
MP3/WMAファイルのCDを聞く (つづき)

ファンクションスイッチ 開 ボタン



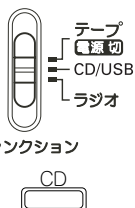
停止ボタン (■)

CDボタン 再生/一時停止ボタン (▶||)



1 ファンクションスイッチを「CD/USB」に合わせ、「CD」ボタンを押す。

表示部が点灯し、「cd」ファンクションが数秒間点滅します。

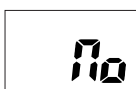


ディスクが入っていない場合

表示部に「No」と表示されます。

ディスクが入っている場合

CDに収められているファイル数が表示されます。



2 ディスクを入れる

「開」ボタンを押して、CDドアを開けてください。表示部に「OP」と表示されます。

● ディスクのレーベル(印刷)面が上向きになるようにディスクテーブルに乗せます。

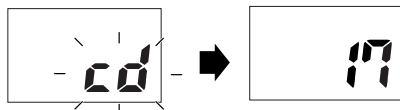
● 一度に2枚以上のディスクを入れることはできません。



3 CDドアを閉める

● CDドアを押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。

表示部に「cd」と点滅表示された後、CDに収められている曲数が表示されます。



(例) 17ファイル入りCD

※ ディスクに入っているデータ容量(音楽曲数)が大きい場合、曲数の表示に時間がかかる場合があります。

4 「再生/一時停止 (▶||)」ボタンを押す番号の小さいフォルダの曲番1から再生が始まります。



● 最後の曲まで再生が終わると、自動的に停止します。

再生を停止する

再生中に「停止 (■)」ボタンを押す

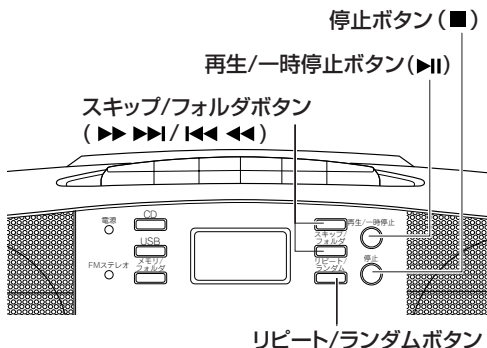
ディスクを取り出す

「停止 (■)」ボタンを押し、CDの回転が完全に停止してから、「開」ボタンを押す

注意

● 再生中は、絶対に「開」ボタンを押さないでください。ディスクを傷つけるとがあります。

MP3/WMAファイルのCDを聞く (つづき)



再生の一時停止

再生中に「再生/一時停止 (▶▶)」ボタンを押す



- もう一度押すと、再び再生が始まります。

聞きたい曲から聞く

停止時に、「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶/◀◀◀◀)」ボタンを押して、希望の曲番号を表示し、「再生/一時停止 (▶▶)」ボタンを押す
選んだ曲以降を順に再生します。

早送り、早戻し

再生中に、「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶/◀◀◀◀)」ボタンを押し続け、希望のところで指を離す

曲の頭出し

停止時または再生中に、曲の先頭から再生します。

次の曲の先頭に行く

「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶)」ボタンを1度押します。

再生中の曲の先頭に戻る

「スキップ/フォルダ (◀◀◀◀)」ボタンを1度押します。

1つ前の曲の先頭に戻る

再生中は「スキップ/フォルダ (◀◀◀◀)」ボタンを2度押します。停止時は「スキップ/フォルダ (◀◀◀◀)」ボタンを1度押します。

再生をくり返す(リピート再生)

「リピート/ランダム」ボタンを押すたびに、表示部の点灯が「REPEAT 1」→「REPEAT FOLDER」→「REPEAT ALL」→「RANDOM」→消灯と切り換わります。



一曲のみくり返し再生する

「リピート/ランダム」ボタンを押して、「REPEAT 1」を点灯させます。

選んだフォルダ内の曲をくり返し再生する

「リピート/ランダム」ボタンを押して、「REPEAT FOLDER」を点灯させます。

全曲をくり返し再生する

「リピート/ランダム」ボタンを押して、「REPEAT ALL」を点灯させます。

プログラムした曲をくり返し再生する

再生する曲をプログラムしたあと (P.22参照)、「リピート/ランダム」ボタンを押して、「REPEAT ALL」を点灯させます。

くり返し再生を解除する

「リピート/ランダム」ボタンを押して、表示を消灯します。

MP3/WMAファイルのCDを聞く（つづき）

注意

- くり返し再生設定中にCDドアを開けるとくり返し再生の設定は解除されます。

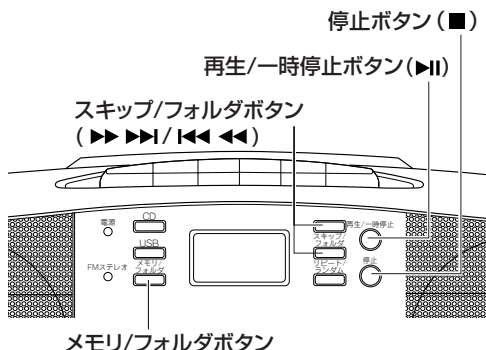


ちょっとこれを！—————

ファイルの構成によりますが

- MP3/WMA再生時は早戻しによる前の曲への移動ができませんことがあります。
- MP3/WMAでの早送り・早戻しは通常の音楽CDよりも遅くなります。

プログラム再生



好みの曲を32曲まで選んで再生することができます。

プログラム例	再生順(ステップ)	曲番
	1番目	曲番6
	2番目	曲番2

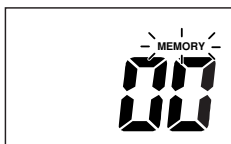


ちょっとこれを!

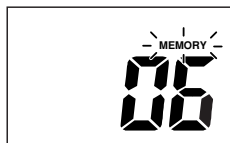
- ディスクが入っていないときは、ディスクを入れてCDドアを開めてください。
- ディスクが再生中のときは、「停止 (■)」ボタンを押して再生を停止してください。

1 「メモリ/フォルダ」ボタンを押す
表示部に「MEMORY」が点滅し、「P01」と約1秒間表示された後、「00」と表示されます。

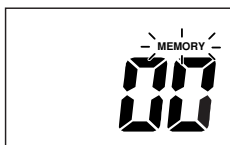
- 前に設定したプログラムが記憶されているときは、「MEMORY」点灯中) プログラムの1番目の曲が表示されます。(P.23参照)



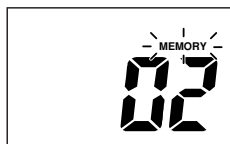
2 「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶ / ◀◀◀◀)」ボタンをくり返し押し、曲番6を選ぶ



3 「メモリ/フォルダ」ボタンを押す
表示部に「P02」と約1秒間表示された後、「00」と表示されます。



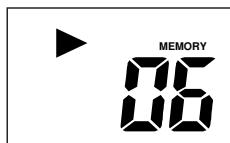
4 「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶ / ◀◀◀◀)」ボタンをくり返し押し、曲番2を選ぶ



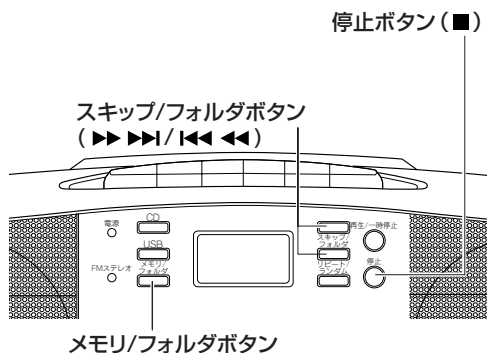
5 「メモリ/フォルダ」ボタンを押す

- 32番目をプログラムし終わると、曲番の表示が「FUL」に変わり、プログラム「P01」に変わります。

6 「再生/一時停止 (▶||)」ボタンを押す
プログラム再生が始まります。



プログラム再生 (つづき)



記憶しているプログラム内容を消去する

停止時に「メモリ/フォルダ」ボタンを押して、「停止 (■)」ボタンを押す

注意

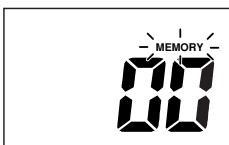
CDドアを開けてもプログラムは消去されません。

プログラム内容を表示 (確認) する

停止時に「メモリ/フォルダ」ボタンを押すたびにプログラム順に内容が表示されます。

プログラムの最後に曲を追加する

- 1 停止時に「メモリ/フォルダ」ボタンをくり返し押して、最後の曲の次のプログラムを表示する

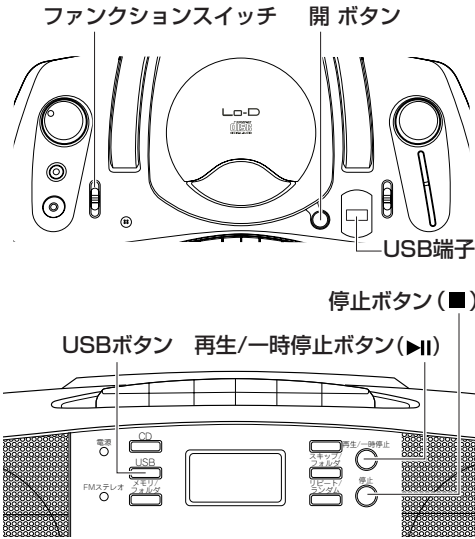


- 2 「スキップ/フォルダ (▶▶▶▶/◀◀◀◀)」ボタンをくり返し押して、希望の曲を表示する

- 3 「メモリ/フォルダ」ボタンを押す

- 32番目をプログラムし終わると、曲番の表示が「FUL」に変わり、プログラム「P01」に戻ります。

USB機器を聞く



音楽データ(MP3/WMA)が入ったUSB機器を接続して、本機のボタン操作で音楽データを再生できます。

本機で使用できるUSB機器についてはP.8を参照してください。

USB機器の再生について

- ファイル構成により、MP3/WMAファイルを読み込むのに1分以上かかる場合があります。
- ファイル数1999またはフォルダ数999まで認識できます。ただし、フォルダ構造によっては全てのファイルが認識できない場合があります。
- USB機器内のMP3形式またはWMA形式(Windows Media Audio)の音楽ファイルのみを再生することができます。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
また、再生時は著作権保護付きの音楽ファイルは自動的にスキップします。
- 他の機器で録音された音楽ファイルの再生順は、USB機器に音楽ファイルが書き込まれた順番となります。
- 「MP3/WMAファイルのCDを聞く」P.18も参照してください。

本機でUSB機器を再生する

- 1 USB端子にUSB機器を接続する**
 - USBコネクタの向きを合わせて、端子に差し込んでください。
- 2 ファンクションスイッチを「CD/USB」に合わせる**

表示部が点灯します。

The diagram shows a vertical function switch with three positions: 'テープ' (Tape) at the top, 'CD/USB' in the middle, and 'ラジオ' (Radio) at the bottom. The label 'ファンクション' (Function) is written below the switch.
- 3 USBボタンを押す**

表示部に「No」と表示されます。
USB機器を認識中は「---」と表示され、完了すると全音楽ファイル数を表示します。

 - 接続したUSB機器が認識できないときは、表示部に「No」と表示されます。この場合は、再度接続しなおしてください。
 - 接続したUSB機器に再生できる音楽ファイルがないときは、表示部に「No」と表示されます
- 4 「再生/一時停止 (▶||)」ボタンを押す**

表示部に「▶」と表示され、再生が始まります。


 - 最後の曲まで再生が終わると自動的に停止します。

USB機器を聞く (つづき)

再生を停止する

再生中に「停止 (■)」ボタンを押す

USB機器を取り外す

- 1 USB機器の再生を停止する
- 2 ファンクションスイッチを「」に合わせる
- 3 USB機器を取り外す

注意

- 「---」表示中や再生中はUSB機器を取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続したUSB機器を外すときは、USBコネクタ部を持って行ってください。

聞きたい曲から聞く

MP3/WMAの再生時と同じです。20ページをご覧ください。

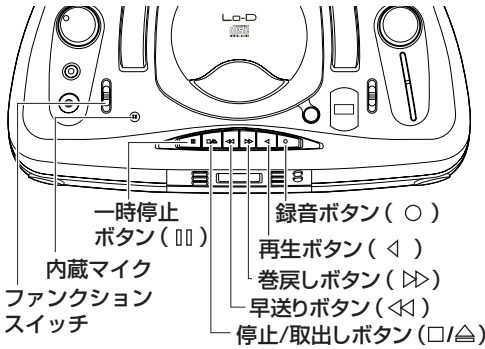
再生をくり返す(リピート再生)

MP3/WMAの再生時と同じです。20ページをご覧ください。

プログラム再生

MP3/WMAの再生時と同じです。22ページをご覧ください。

テープを聞く



録音(○)

CD、USB、ラジオおよび内蔵マイクから録音するときに押します。

再生(◀)

カセットを再生するときに押します。

巻戻し(⏮)

テープが停止状態のときに、巻戻しボタンを押します。

早送り(⏭)

テープが停止状態のときに、早送りボタンを押します。

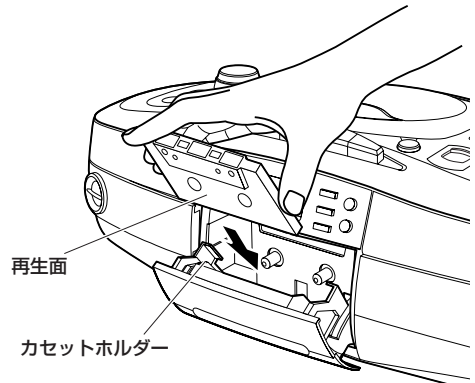
停止/取出し(⏹)

テープの動きを止めるとき、もしくはテープが停止状態でカセットのドアを開けるときに押します。

一時停止(⏸)

テープの再生もしくは、録音を一時停止させるために押します。もう一度押すと、再生もしくは録音の状態に戻ります。

2 「停止/取出し(⏹)」ボタンを押して、カセットドアを開け、テープを入れる



3 カセットドアを閉める

カチッと音がするまで確実に閉めてください。

4 「再生(◀)」ボタンを押す

再生が始まります。

※電源ランプが点灯します。
表示部は点灯しません。



ちょっとこれを！

再生・録音中にテープが全部巻き取られると、自動的にボタンが復帰して停止します。

テープの再生を停止する

「停止/取出し(⏹)」ボタンを押す

- テープを取り出すときは、「停止/取出し(⏹)」ボタンをもう一度押します。

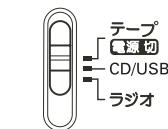
一時停止

再生または録音中に「一時停止(⏸)」ボタンを押す

- もう一度押すと再度、再生または録音が始まります。

1 ファンクションスイッチを「テープ」に合わせる

※電源ランプは点灯しません。



テープを聞く (つづき)

早送り、巻戻し

停止時に「早送り (<<)」または「巻戻し (>>)」ボタンを押す

- 希望のところきたら、「停止/取出し (□/△)」ボタンを押します。

注意

- 再生中に「早送り (<<)」または「巻き戻し (>>)」ボタンを押さないでください。テープがからみ故障の原因となります。



ちょっとこれを！

- 早送り、巻戻し中にテープが全部巻き取られても自動的にボタンは復帰しません。かならず、「停止/取出し (□/△)」ボタンを押してください。
- 早送り、巻戻しによる頭出し (キュー/レビュー) 機能はありません。

自動録音レベル調整について

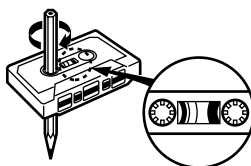
- 本機には自動録音レベル調整回路が内蔵されていますので、自動的に適正なレベルで録音されます。音量つまみを調整したり、バススイッチで設定を切り換えても録音には影響しません。

カセットテープについて

ノーマルテープ (TYPE 1) をご使用ください。ハイポジションテープ (TYPE 2) やメタルテープ (TYPE 4) は使用できません。

- エンドレステープは使用できません。
- 90分を超える長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込むおそれがありますので、使用しないでください。
- カセットテープの両端のリーダーテープ部分 (半透明の部分) は録音できません。録音の前にはこの部分を送ってから使用してください。

テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。



次のような場所には保管しないでください。

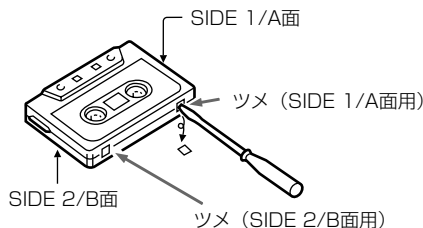
ほこりの多いところ。

磁気の発生するところ。

高温や湿度の多いところ。

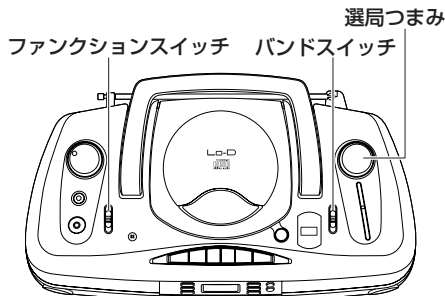
大切な録音を消さないために

カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。



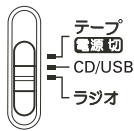
誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさいでください。

ラジオを聞く



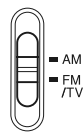
1 ファンクションスイッチを「ラジオ」に合わせる

※電源ランプが点灯します。表示部は点灯しません。



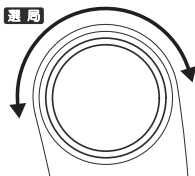
ファンクション

2 バンドスイッチを「AM」または「FM」に合わせる



バンド

3 周波数表示を目安に選局つまみを回して聞きたいラジオ局にあわせる。



テレビの音声を聞く

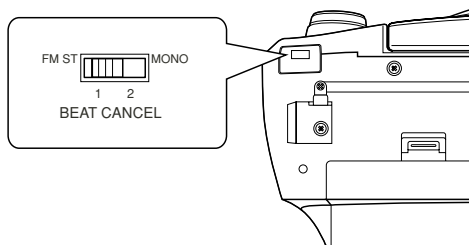
本機のFMバンドでテレビの1～3チャンネルの音声を聞くことができます。

- 1 チャンネル 1 CH
- 2 チャンネル 2 CH
- 3 チャンネル 3 CH

●ステレオ、音声多重にはなりません。

- 本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令として決定されています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。

FMステレオ放送の受信について



背面の「BEAT CANCEL」スイッチでステレオ「FM ST」とモノラル「MONO」モードを切り換えることができます。ステレオ「FM ST」側のときにステレオ放送を受信すると、自動的にステレオになります。

- ステレオで受信しているときは、FMステレオランプが点灯します。
- 受信状態が悪いときは、モノラル「MONO」モードにすると、ステレオにはなりません、聞きやすくなります。
- AMステレオ放送には対応していません。



ちょっとこれを！

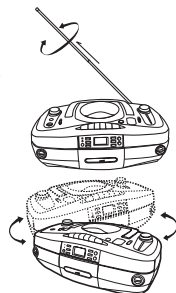
よりよい受信をするために

FM放送

ロッドアンテナを伸ばし、最も良く聞こえる方向に向けてください。

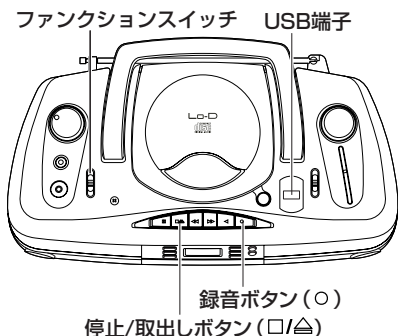
AM放送

本体の向きを変えてください。



MEMO

録音する



1 「停止/取出し(□/△)」ボタンを押して、カセットドアを開け、テープを入れる

- 録音する面を手前にして入れます。
- 録音するときは、頭切れをなくするため、あらかじめリーダーテープ部を巻き取っておいてください。

2 カセットドアを閉める

- 録音を始めるテープ位置で停止させておきます。

3 録音するファンクション(音源)を選ぶ

CD/USB機器から録音するとき(CD/USBシンクロ録音)：

希望の曲から録音するときは、曲番を選んでおきます。

- 希望の曲だけを選んで録音するときは、プログラムをしておきます。(P.22参照)

ラジオを録音するとき：

録音する放送局を受信する。(P.28参照)

内蔵マイクから録音するとき：

ファンクションスイッチを「**テープ**」に合わせる。

4 「録音(○)」ボタンを押す

「再生(<)」ボタンも同時にさがり、録音が始まります。

- CD/USB機器から録音する(CD/USBシンクロ録音)ときは、録音とCD、またはUSB機器の再生が同時に始まります。
- CD/USB機器の一時停止中に「録音(○)」ボタンを押すと、曲の途中から録音を始めることができます。
- テープが終端になると、自動的にテープの録音を停止します。



ちょっとこれを！

- CD/USBシンクロ録音とは、「録音(○)」ボタンを押したときに自動でCDまたはUSB機器の録音を始める機能です。
- 「録音(○)」ボタンを押すと同時に「再生(<)」ボタンがさがるため重く感じるがありますが、故障ではありません。

テープの録音を停止する

「停止/取出し(□/△)」ボタンを押す

注意

- CD/USBシンクロ録音のときは、カセットの「停止/取出し(□/△)」ボタンを押すと、CD、またはUSB機器の再生は一時停止状態になりますので、かならず「停止(■)」ボタンを押して、停止させてください。

録音中にビート音ができるときは

ラジオを録音中、ビート音(「ピー」という音)ができることがあります。その場合には、背面の「BEAT CANCEL」スイッチをビート音が小さくなる位置(1または2)に切り換えてください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの場合は、著作権上、権利者に無断で使用できません。

MEMO

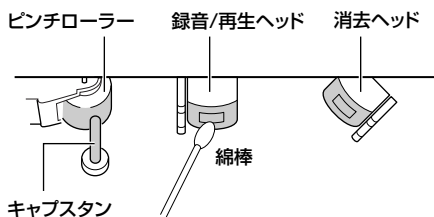
お手入れ

テープヘッド部の清掃

テープを再生または録音すると・・・

- 音が悪い
- きれいに録音できない
- 前の音が残っている
- テープが巻きつく

などの症状がでた場合、その多くはヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキット(またはクリーニングテープ)をお買い求めのうえ、ヘッド部分を清掃してください。清掃はできるだけ早め(約10時間程度使用ごと)におこなってください。



「停止/取出し(□/△)」ボタンを押してカセットホルダーを開け、図に示す■部分をふいてください。

- 長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。このようなときは、市販の消磁器でヘッドを消磁してください。

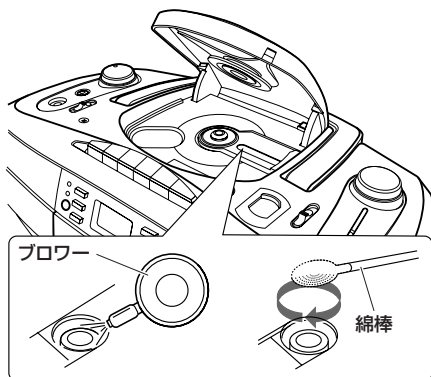
本体のお手入れ

柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

ピックアップ(レンズ)の清掃

ディスク装着部のレンズが汚れますと、音とびが起きたり、再生ができなくなったりします。ほこりなどは、市販のプロワーでレンズを2、3回吹き、先のブラシでほこりをはき出します。指紋などレンズについた汚れは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけてレンズの中心から外に向かってふいてください。



MEMO

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

故障？	原因	処置
音がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードがはずれている ● 乾電池が消耗している ● 音量が小さく設定されている ● ヘッドホンが差し込まれている ● お聞きになるうとするファンクションが正しく選ばれていない ● 著作権保護付きの音楽ファイルを再生しようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ● コードを確実に差し込む ● 乾電池を交換する ● 音量を調節する ● ヘッドホンをはずす ● 目的のファンクションを正しく選ぶ ● 著作権保護が付いていない音楽ファイルのみを再生する
MP3、WMAのディスクやファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 対応フォーマットまたは条件が合っていない、あるいは記録状態が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 対応フォーマットまたは条件に合うディスクやファイル、記録状態の良いディスクに交換する
CD部		
演奏がはじまらない	<ul style="list-style-type: none"> ● CDが裏返しになっている ● CDが汚れている ● CD以外のDVDディスクが入っている ● CDに露がついている ● CDを2枚重ねにしている ● ファンクションが「USB」になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● レーベル面を上にして入れる ● 清掃する ● CDに取り替える ● ふき取ってください ● 1枚だけセットする ● CDボタンを押してファンクションを「CD」に切り換える
音がとぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● CDに大きな傷やソリがある ● 振動する場所に設置している ● レンズが汚れている 	<ul style="list-style-type: none"> ● CDを取り替える ● 振動のない場所に設置する ● 清掃する
CD-R/CD-RWが読み込めない	<ul style="list-style-type: none"> ● 不完全な録音形式で録音されたCD-R/CD-RWが入っている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 正規の録音形式で録音されたCD-R/CD-RWを使用する
USB部		
共通	<ul style="list-style-type: none"> ● USBボタンを押して「USB」に切り換えていない ● 「No」が表示されている 	<ul style="list-style-type: none"> ● USBボタンを押してファンクションを「USB」に切り換える ● 停止中にUSBファンクションを選択し、USB機器を接続しなおしてください ● USB機器に音楽ファイルが入っていない。音楽ファイルの入っているUSB機器に交換する

故障かな？と思ったら（つづき）

操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● USB機器がしっかりと接続されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 奥までしっかりと差し込む
カセット部		
カセットが入らない カセットドアが閉まらない	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットの向きが上下逆さまになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● テープの見えている方を上側にして入れる
テープが走行しない	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープの不良 	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープをとりかえる
録音ボタンが押せない	<ul style="list-style-type: none"> ● ツメの折れたカセットを装着している 	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープをとりかえる ● 穴をセロハンテープなどでふさぐ
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッド部が汚れている ● ハイポジションやメタルテープを使っている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃する ● ノーマルテープを使用する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波の受信状態が悪い ● 電源雑音の影響を受けている ● モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ● 選局がずれている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の設置場所を変える ● 電源コードを差し替える ● 本機を雑音源から離す ● テレビを消す ● アンテナを調節する ● 正しく選局する

注意

CDやUSB機器の動作中に、表示や動作が異常になった場合は、ファンクションスイッチを一度「**テープ**」にして電源を切ったあと、再度「CD/USB」にして操作しなおしてください。長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

仕 様 CK-33D

CDプレーヤー部	
再生フォーマット	音楽CD(CD-DA)、 CD-R/CD-RW(CD-DA)、 MP3(MPEG1 Audio Layer-3)、 WMA(Windows Media Audio)(DRM非対応)
USB端子部	
再生フォーマット	MP3(MPEG1 Audio Layer-3)、 WMA(Window Media Audio)(DRM非対応)
再生サンプリング周波数	16~44.1kHz
再生対応ビットレート	16~192kbps(MP3)、 32~160kbps(WMA)
ラジオ部	
受信周波数	FM : 76~90MHz TV : 1~3ch (地上アナログテレビ放送) AM : 530~1.620kHz
テープレコーダー部	
録音方式	交流バイアス
消音方式	マグネット消去
巻き戻し時間	約170秒(60分テープ)

マイク部	
マイク	無指向性マイク
共通部	
スピーカー	9cm×2(8Ω)
出力	2W+2W(JEITA/DC)
出力端子	Phone端子 (ヘッドホン) ステレオミニジャック3.5φ 15mW(32Ω)
電源	AC100V、50/60Hz DC12V(単一乾電池8本)
消費電力	15W
外形寸法	幅410×高さ151× 奥行243mm
質量	約2.7kg(乾電池含まず)
電池持続時間	CD再生時(JEITA)約7時間
日立アルカリ乾電池 (LR20)×8本使用時	テープ再生時(JEITA)約26時間 FM録音時(JEITA)約20時間
付属品	電源コード(コード長:約1.8m)

MEMO

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに 関するご相談は

TEL ☎0120-3121-68

FAX ☎0120-3121-87

(受付時間) 365日/9:00~19:00

商品情報やお取り扱いに ついてのご相談は

TEL ☎0120-8802-28

FAX 03-3260-9739

(受付時間) 9:00~17:30/携帯電話、PHS
からもご利用できます。土曜・日曜・祝日と
年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませ
ていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

保証とアフターサービス

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間…お買い上げ日から1年です。

ご不明な点や 修理に関する ご相談は

ご不明な点や修理に関するご相談は修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用 性能部品の 保有期間

CDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時は（持込修理）

34ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、電源コードを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保障期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保障期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	CDラジオカセットレコーダー
形名	CK-33D
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です、その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入年月日を記入しておいてください。サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名	ご購入年月日

長年ご使用のCDラジオカセットレコーダーの点検をぜひ！……………
熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



このような症状はありませんか

- 電源を入れても音が出ない。
- ジージー・パチパチと異常な音がる。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて必ず販売店にご相談ください。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区小川町6-29 (アクロポリス東京)

TEL.03(3260)9611

CDラジオカセットレコーダー保証書 **持込修理**

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保障期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	CK-33D	※ お 買 い 上 げ 日		保 証 期 間
		平 成	年 月 日	本 体 : 1 年
※お客様	ご住所 ご芳名	〒 -		様
※販売店	住所 店名	〒 -	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障及び損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用等）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (チ) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
 - (リ) 消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合の交換。
- 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼にできない場合には、取扱説明書のお客様ご相談窓口をご覧のうえ、ご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- 修理に伴う商品の移送に要する送料等は、お客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このCDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)
TEL. 03(3260)9611
FAX. 03(3260)9739